

第95回箱根駅伝における募集広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本貢祐 1等海佐）は、平成31年1月2日（水）、横浜市戸塚区及び川崎市の2ヶ所で、「第95回箱根駅伝」沿道における募集広報活動を実施した。

やや風が吹き気温も低かったものの晴天に恵まれた中、戸塚区においては戸塚中継所（戸塚警察署、川崎市においては稲毛神社近傍）に広報官を配置し、駅伝の応援に駆けつけた対象者等に対し広報グッズ（募集チラシ入りカイロ）を活用した募集広報活動を実施した。

特に本年は、自衛官候補生・一般曹候補生の採用年齢上限の引上げの告知を強調するチラシを作成・配布するとともに、今春の採用にまだ間に合うことを積極的にアピールした。

当初はあまり振り向いてくれなかった対象者も、広報官が笑顔で話しかけると、「寒いのに大変ですね」「有難うございます。頑張ってください」等と労いの言葉とともに、募集チラシ入りカイロを受け取ってくれた。

箱根駅伝における募集広報活動は、平成28年から実施して今年で3回目であり、「昨年もチラシを貰いました」との声もあり、継続した市街地広報活動による認知度が増加していることも実感できた。

また、今回、東部方面総監部幕僚副長（防衛）森脇陸将補から現地において激励を頂き、本部長以下各広報官は旺盛な士気をもって募集広報活動を実施することが出来た。

神奈川地方協力本部は、「今後も、対象者の集まる地域や行事のあらゆる機会を活用して募集広報活動を積極的に行い、年度の募集成果の拡充に繋いでいきたい」としている。



東方防衛副長による激励受け



駅伝の応援に駆け付けた人々に広報グッズを配る広報官

自衛隊神奈川援護懇話会の第一空挺団降下訓練始め研修支援 （援護協力企業との関係を強化）

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本貢祐 1等海佐）は、平成31年1月13日（日）、自衛隊神奈川援護懇話会が主催した習志野駐屯地演習場における第一空挺団降下訓練始め研修を支援した。

同懇話会は、退職自衛官が県内各種企業に再就職することで、在隊間に培われた体力、指導力、協調性、責任感等を県内産業の発展に大いに活用することを目的に、現在210社を超える企業等によって組織され、退職自衛官を積極的に受入れている。

当日は、同懇話会企業11社26名が参加し、冬晴れの青空の中、各種航空機から空挺降下する隊員の厳しい訓練を目の当たりにすることで、自衛隊活動の実情や退職自衛官の就職援助に対する理解を更に深めた様子であった。

自衛隊神奈川地方協力本部は、「援護協力企業との連携をより強化するため、今後も継続的に部隊研修を支援していく」としている。



冬晴れの青空の中、次々と降下する空挺隊員の勇姿